

【小学生の部】 未来賞

「ツバルの島が沈む？」

箕面市立萱野北小学校 3年 福田 潤

ぼくには、気になることがいっぱいあります。

南太平洋にあるツバルという島を知りました。島が水びたしになっているのです。海面上昇のせいだと言われています。海面上昇とは高い山の氷が沢山とけて、溶けた氷が水になり海に流れこんでしまって海の水が増えることを言います。実はツバルでは海の水が陸に少しずつ毎年上がってきているようです。

ツバルはもともとサンゴしょうの島なので、土の高さがだいたい1メートルしかありません。

しかも、地面の底がスポンジみたいになっているので、水がしみこみやすくなっています。だから、島が水びたしになっているのです。

またツバルでは、大きなヤシの木が倒れています。これも海面上昇が原因です。海の水がヤシの木の砂を持って行ってしまうからです。どうしてこんなことになったのでしょうか？

地球の温度が上がりすぎる、地球温暖化のせいだと言われています。そしてその原因はぼくたちのせいかもしれないのです。

地球は太陽の熱をのがさないように地球の空気がちょうせいしています。その空気を温室こうかガスといいます。でも工場からのけむりやはい気ガスなどがふえると温室こうかガスがふえすぎてしまいます。そうすると今度は地球の気温が上がりすぎてしまいます。

そうなると高い山の氷が沢山とけて地球の海の量がふえてしまうのです。つまり工場がいっぱいある日本や他の国が出している温室こうかガスが原因で地球をあつくしているのです。ツバルのような島がしずむ原因をつくっているのです。

いったいぼくたちはどうしたらいいのでしょうか。ツバルでは他の国に行きたい人もいました。でもみんなツバルのことが大好きなので、本当はどこにも行きたくありません。

日本などの国は、温室こうかガスを作ってしまう工場のせいひんで楽しくすごしていても、他の国に迷惑をかけているのかもしれない。

日本も海に囲まれています。ツバルと同じことがいつおこるか分かりません。だから工場や車やテレビなどのべんりなものを作ることをへらし、木を植えたり、森をふやしたりして自然をふやしていくことが大切だとぼくは思います。ツバルのように困ったことがあったら、助けを求めてみんなはどうしたらいいか考えてみんながしあわせになったらいいなと思いました。ツバルがしずみませんように。